

別紙

広島協同乳業株式会社温室効果ガス削減計画

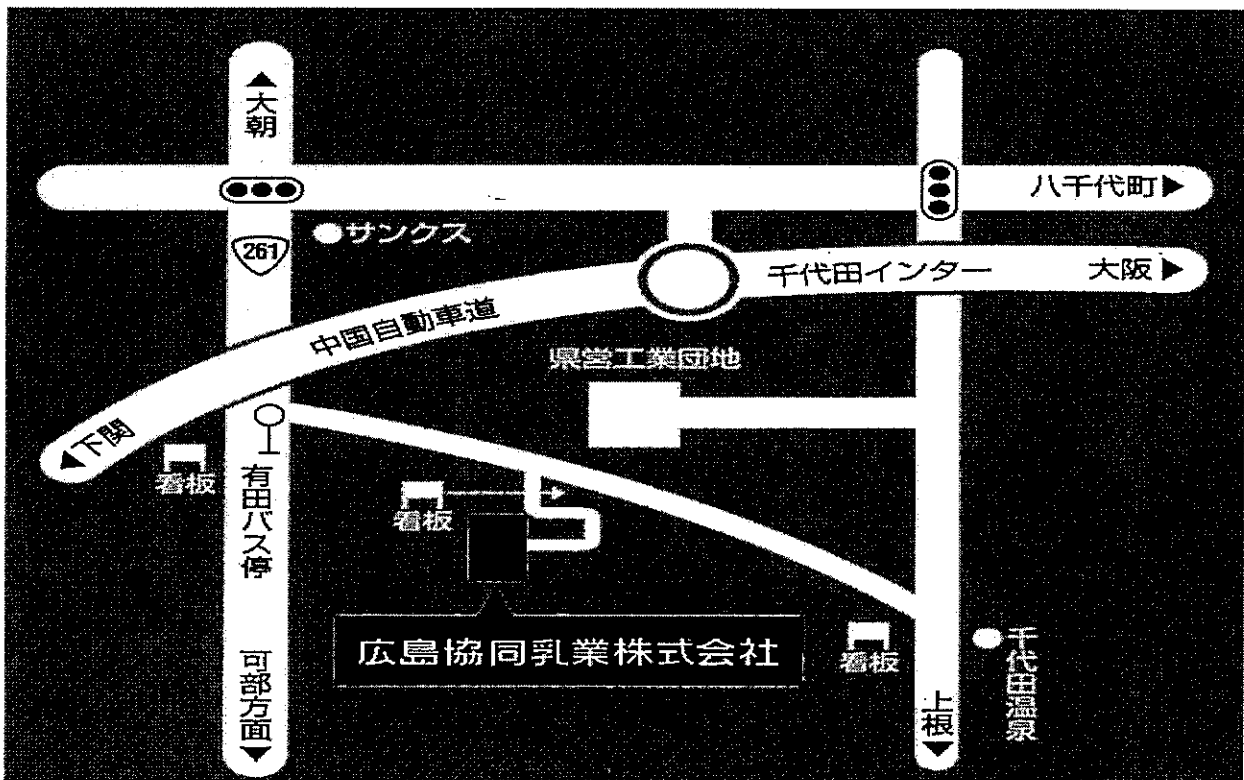
1 事業の概要

(1) 事業所の名称 広島協同乳業株式会社

(2) 事業所の所在地 広島県山県郡北広島町南方字中山206-4

(3) 業種 0913 処理牛乳・乳飲料製造業

(4) 事業所位置図



2 計画の期間

本計画の期間は、平成22（2010）年度を基準年度とし、平成24（2012）年度から平成27（2015）年までの4年間とする

3 計画の基本的な方向

環境方針

（1）当社は、豊かな緑、きれいな水、空気に恵まれた中国山地に広がる北広島町に立地しています。その中で主要製品である牛乳類、飲料類、デザート類の生産及び販売が環境に与える影響を明確にします。

「環境にやさしい恵み豊かな広島づくりと次代への継承」を基本理念とする広島県環境基本計画に基づき、北広島町の豊かな自然を守るため事業者の役割を果たしていくとともに環境保全型企業を目指します。

（2）環境関連の法律、規制、協定、上部組織の要求事項及び地域住民との合意事項を順守し、定期的に評価します。

さらに、技術的・経済的に可能な範囲で一層の環境保全に取り組みます。

（3）当社が行う事業活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取り組みます。

①節水及び排水量の抑制

②廃棄物の削減

③廃棄物の分別によるリユース・リサイクル化の推進

④省エネ運動の推進

⑤グリーン調達推進

⑥コミュニケーションの推進

⑦敷地内緑化促進

（4）目的、目標、プログラムを定め定期的な見直しの枠をつくり、継続的な改善を図ります。

（5）環境方針を文書化し、従業員に周知徹底し、教育を実施します。

（6）要求があれば、この方針は公表します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素		4,355	4,728

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量 (t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成27年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4,355	35,050	0.124	1.7	4,800	39,300	0.122
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	4,355	35,050	0.124	1.7	4,800	39,300	0.122
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	1,695	35,050	0.048	2.8	1,847	39,300	0.047
目標設定の考え方	新規省エネ設備、高効率電力機器の導入により削減効果の見込まれる数値。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	生産設備	削減効果：CO ₂ 排出量47.43 t/年	フルマスター150 (30kw×3台・ユニット付) にブレイジング熱交換器を設置し、消費電力を削減
2	工場照明設備	削減効果：CO ₂ 排出量5.42 t/年	工場製造室内一部・事務所の照明ランプを高効率ランプ、灯具への更新(100本)順次後進
3	工場設備	削減効果：CO ₂ 排出量2.71 t/年	冷凍装置10台のうち2台を高効率型に順次更新する。
4	生産設備	削減効果：CO ₂ 排出量39.30 t/年	ボイラ給水の加温装置による重油使用量削減

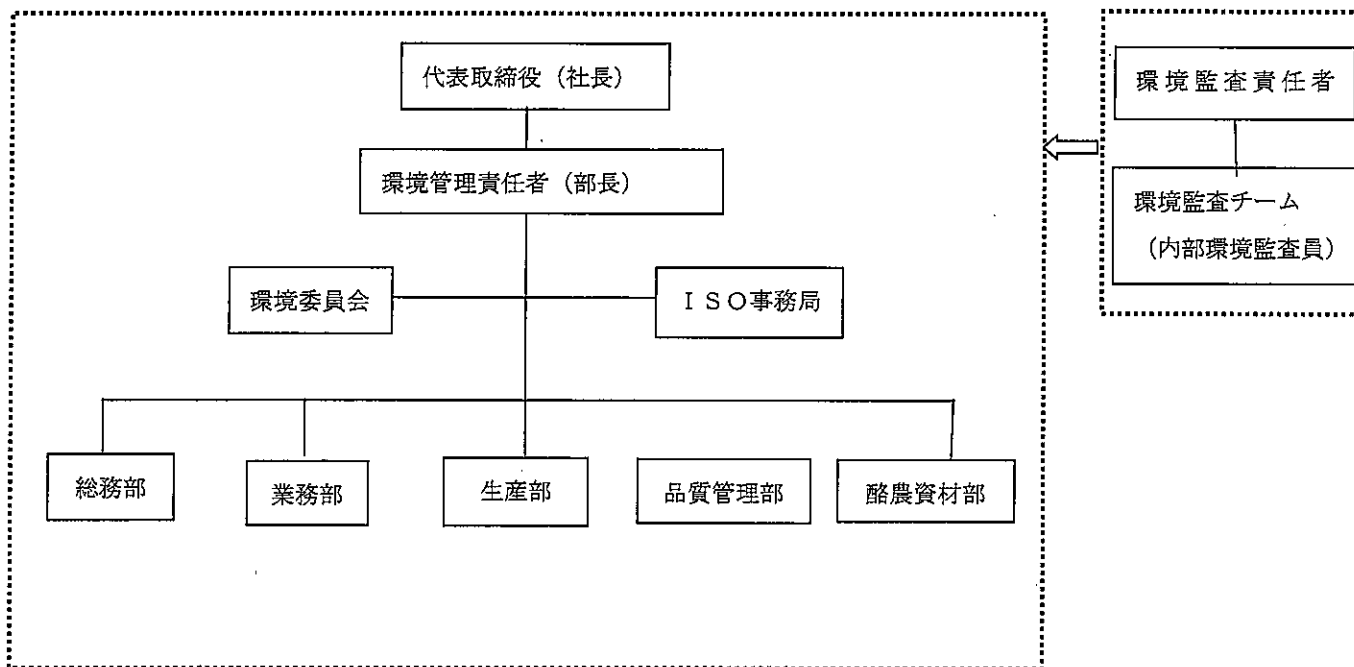
※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 環境に配慮した実践的な取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	排水量抑制	23年対比で0.1%削減	殺菌機CIP濯ぎ水オーバーフローの低減 排水データの収集管理と排水設備維持管理
2	廃棄物の削減	工程内での仕損じ発生件数年間17件以下	作業標準の周知徹底 生産時日付の2人確認徹底 取出し間違い防止用個人札
3	リユース・リサイクルの推進	①リサイクル100%維持 ②分別100% ③2100kg/年・240万円以下 ④切り替え時12枚以上使用 ⑤30kg/日	①廃ビニール、廃ダンボール、廃茶殻のリサイクル ②業務廃棄物の分別によるリサイクル推進 ③廃カートのリサイクル ④不稼働カートの再利用 ⑤廃棄プラスチック容器のリサイクル(充填時)
4	省エネ運動の推進 (部署3項目以上の運動実施)	基準年度2009年度原単位対比でCO ₂ 2012年度に排出量8%削減します。	殺菌機稼働率の向上 純水ポンプの夜間停止 コンプレッサ運転時間の圧縮 製造機器の空転抑制 冷蔵庫不要な電灯停止

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

ISO14001環境マニュアルに沿った管理を行ない、毎月環境委員会において、定期的に計画目標の進捗状況の確認・評価・見直し等を行なう。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書を事業所へ備付け閲覧可能な状況とする。